

2015年が幕を開けました。今年は「ミレニアム開発目標(MDGs)」の達成目標年です。2000年、国際社会は世界から貧困をなくすための共通目標を立て、その期限を15年後に決めました。飢餓撲滅や教育の普及、保健・衛生サービスの向上、ジェンダー平等などの8つの目標は、大きく取り組みが進んだものがある一方で、課題も残っています。

今年の秋には、国連総会で新たな開発目標が採択されます。JICAはこれまで蓄積してきた知見やネットワークを生かして、今後も日本ならではのきめの細かい、かつダイナミックな協力を行っていききたいと思います。

また、今年「青年海外協力隊50周年」の節目の年でもあります。まだ1ドル360円の固定レートで海外旅行も珍しかった時代に、ラオスに5人の青年海外協力隊員が派遣されたのが始まり。これまで累計で世界96カ国に約4万7000人のJICAボランティアが派遣され、世界の津々浦々で活動する姿が最近よくテレビにも登場しています。

この50年、協力隊を含むJICAボランティア事業はシニア層への派遣拡大、企業や大学のグローバル人材育成のニーズに応える制度づくりなど、社会の変化と連動して進化を続けています。でも変わらず中核にあるのは、現地の人々に寄り添い、同じ目線で共に課題に取り組み姿勢です。また活動を通して、勤勉さ、丁寧さといった、日本人らしさを相手国の人々に伝え続けています。

先日来日したケニアの運輸・インフラ省長官から「子どもたちの父親の職場で会った2人の協力隊員に会えないか」と相談があり、40年以上の時を経て再会が実現しました。その時の長官の言葉「さまざまな国際協力があるが、大切なのは人と人との心に橋を懸けること」は、協力隊の本質を表しています。

広報室長 西野恭子

本誌へのご意見・ご感想や  
JICAへのご質問を  
お寄せください。

プレゼント  
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2015年2月15日

Eメール：jica@idj.co.jp  
FAX：03-3221-5584(『mundi』編集部宛)

- ① ケニアのサイザルバスケット
- ② 書籍『ジャスミンの残り香 —「アラブの春」が変えたもの』(p37参照)
- ③ 書籍『元JICA専門家 中小企業診断士 298日間の海外支援奮闘記』(p37参照)



①



②



③

本誌をご希望の場合は  
下記方法で  
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払いください。入金確認後、発送手配をいたします(入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください)。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)  
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F  
TEL 03-3221-5583  
FAX 03-3221-5584  
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2015年2月1日発行予定)

アフリカ

日本人にとっては地理的にも遠いアフリカ。その“素顔”を、一体どれだけの人が知っているでしょうか。アフリカの昔と今、そして将来を見据えた日本の協力について紹介します。

**mundi**

JANUARY 2015 No.16

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ(<http://www.jica.go.jp/publication/mundi>)でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。